

さまざまな側面から知能研究を進めると共に、知能の測定や評価、知能発達を促す手立てなども研究課題としている。例えば、学力では、児童生徒の学力向上が課題になつてゐるが、集団式の学力検査だけでは、その原因や対処法が見つけられない子供たちも増えているという。LD（学習障害）児やADHD（注意欠陥多動性障害）児など、個別の学力アセスメントが困難とされる児童生徒にも適応できる個別学力テストの研究開発、低学力児の持つ特性などを踏まえて、より適切な対策や指導の改善の手がかりを得ることを目的とした研究を進めってきた。

また、幼児の発達では、日本・中国・韓国の幼児を対象に心身の発達を調査し、アジア版の尺度を作成して、子育て支援への活用法などを探る研究も進めている。この尺度は平成25年に完成し、研究成果をまとめた書籍『発達心理学者による3歳から就学前までの子育てアドバイス』も発刊されている。テスト開発では、個別式検査として「田中ビネ一知能検査V」や、それを就学前の幼児に特化した版、「言語の未発達な児童から小学校低学年の児童、及び聴覚障害児を対象としたノンバーバル検査」、「言葉の発音、音韻分解、読字の四つの角度から言葉の発達を診断する「言語発達診断検査」などがある。また、集団式検査では、集

田中教育研究所が平成9年度から導入した「幼児心理カウンセラーセンター」を資格認定する。

株式の知能検査や発達検査、学習指導要領に準拠した領域別標準学力検査・観点別到達度学力検査、高校生向けの進路適性調査のほか、子供のコミュニケーション力を高めるための方法や学習集団の状態を確認するためのワーク、「思いやる」「言葉」「運動」「考える」の4領域で子供の社会性の発達を短時間で測定できるスケールと子育てに活用するガイドなどがある。このほか、親子関係検査なども開発しているところという

## 幼児心理カウンセラーを資格認定

田中教育研究所が平成19年度から導入しているのが「幼児心理カウンセラー」の資格認定制度。同研究所の幼児カウンセリング講座を受講し、所定の要件を満たした後審査で合格すると「幼児心理カウンセラー」財団法人田中教育研究所の資格が認定される。これまでに約130人の資格認定者が誕生しており、その資格認定者を対象に、事例検討会などを開催し、同研究所の所員が専門的な立場から助言や情報提供を行っている。このほか、各市町村の教育機関などからの要請に応えて、主に幼児・児童・生徒を対象にした各種知能検査を個別または集団で実施するための専属のテクスターなどを派遣しており、検査結果を基に、知的発達状態の理解と適切な援助への手がかりとなる詳細な資料を提供している。

このほか、昭和35年から継続して開かれている「幼児心理講習会」は、幼児教育に携わる保育士・幼稚園教諭を対象に、毎年コース別にテーマを掲げて、そのテーマに沿って幼児教育に大切な事柄を心理的な面からアプローチしている。東京のほか関西でも開催している。本年度は、「ちよつと気になる子供へのサポート」「子供と親の育ちを支える保育」などがテーマとなった。また、教育心理講習会では、小・中・高校の教員、特別支援教育に携わっている教員を対象に、その時々に教育現場で問題になっている事柄を教育心理の面から追求した内容を学ぶようにしている。

杉原所長は「近年、社会の急激な変貌とともに子供が育つ環境が大きく変化し、その成長にさまざまな問題が生じている。これららの問題に適切に対応するには、まず一人一人の子供の状態を的確に把握することが求められている。その際に、必要とされるのが、高い妥当性や信頼性を持つ心理検査に基づく適正なアセスメント。同時に、指導者が高い専門的な知識・能力を持つことが不可欠になっている。初代所長の田中寛一が目指した『正しいアセスメントに基づく適切な教育』は今日の日本の教育界でますます強く求められている」と指摘する。

現場の課題に応える  
教育センター 〈57〉

教育の科学化を初心に、心理学の成果を生かす

一般財団法人・田中教育研究所

## 田中寛—初代所長が戦後に設立

初代所長の田中寛一は、心的作業能率や疲労に関する基礎的実験研究を初期の研究としていたが、その後、師範学校で教壇に立った経験から、より客観的な手がかりをもとに教育を建設していくという思いから、教育測定の研究を開始した。「正しいアセスメントに基づく適切な教育」を目指して、戦前から『教育測定学』（大正15年）『教育的統計法』（昭和3年）など、教育科学化の先駆けとなつた著作がある。昭和10年以降、知能に関する研究を精力的に行い、昭和18年には「田中びねー式智能検査法」を完成させている。

戦後の混乱期に当面して、「国の再建にはまず教育の復興が必要であり、それには教育の科学化によるほかない」との信念の元に、それまでの研究の成果を踏まえて、昭和23年に田中教育研究所を設立して、若い研究者の育成にも力を入れた。また、同研究所を基盤とする研究や教育啓発などの功績で、心理学者としては初めて、紫綬褒

## **個別学力テスト、学校不適応の研究も**

**個別学力テスト・学校不適応の研究も**  
田中教育研究所では、研究開発、テスト開発、講習会、相談活動などを行つてゐる。特に、心理検査の開発・利用と心理学の最新の知見普及のための研修会の開催を中心にして、幼児心理講習会や教育心理講習会に加えて、最近では幼児心理カウンセラーの資格認定の事業も開始した。  
研究開発では、知能、学力、低学力児、老人心理、進路、幼児の発達、道徳、学校不適応等に関するものがある。特に田中教育研究所では、子供から老人までを対象に言語・思考・知覚・認知・記憶などのさま

その後、昭和34年に、文部省

3